

第一回普選と選挙ポスター

昭和初頭の選挙運動に関する研究

玉井清(著)

参議院議員選挙が始まった。今回から候補者はインターネットを使つて運動することが認められた。

選挙運動の研究書は意外に少ない。ビラや挨拶状^{あいさつ}などを収集する者がいないため、実態が解明できないのである。

このたび慶応義塾図書館から、第一回普通選挙で用いられたポスターやビラなどの資料が発見された。本書はそれらの紹介と共に、選挙戦の様相と有権者の投票意識^{かた}を分析した。時宜に適った出版といえる。カラーのポスター図案

好んで使われた「昭和維新」

が楽しい。「投票スレバ^{あかる}明クナリ 棄権スレバ暗クナル」。これは内務省の棄権防止ポスター。「選ぶ人正しければ選ばれる人正し」。朝日新聞社が募集した標語の入選作。図案と標語は候補者が無断で複製使用できた。選挙運動ではポスターに限らず、レコード、芝居、映画など種々のものが活用された。ネット選挙もこの流れにある。驚くのは、「昭和維新」という語が好んで使われたこと。昭和新政の意で普選の成功を謳^{うた}ったもの。

出久根達郎(作家)

慶応義塾大学法学研究会・6930円

2013.7-7 朝日新聞